



ものづくりのまちと共に55年

▲上空から眺めた昔の訓練所のような様子。高浜高等技術専門校のホームページ掲載の写真からは埋立前の海を見ることができ、海員学校の名残が感じられる。

※写真提供：県立高浜高等技術専門校



▲訓練のようす
(昭和30年代)



▲現在の校舎



▲現在の訓練のようす。何となく違和感のある電柱など、敷地内には訓練のための設備があちこちに。

県立高浜高等技術専門校

県立高浜高等技術専門校(碧海町)の敷地内に入ると、妙に狭い間隔で並んだ電柱や、日本庭園がいくつかの区画にあり、いわゆる「学校」というイメージとは異なる風景が広がっていて、少し驚かされる。昭和36年(1961)“県立高浜職業訓練所”としてスタートした同校は、建築業などの専門的な訓練の場として貢献を続け、今年55周年を迎える。修了生は約12,000人にのぼり東海地方の建築建設現場などで活躍しているという。現在は1年間の電気工事科・住宅総合科の2コースとともに、在職者対象の訓練も提供し、多くの技能者を輩出している。不思議な電柱は配線工事訓練のため、庭園も剪定の訓練用だと聞いて納得した。

訓練課長の川出浩之さんは「昭和63年(1988)に現在の校名になり、一時は自動車整備や板金など、今より多くの種類の訓練を行っていました。時代のニーズで訓練内容も変化していますが、即戦力になるスキルが得られ、転職・再就職を考える方にとって有利な技能を身につけられる施設であることに変わりはありません。」と語る。また「この場所は、昔、運輸省(現・国土交通省)の海員学校があったそうですよ。」と教えてくれた。古い写真からは、校舎のすぐ横が浜辺であることがわかる。海員学校の時代を含め長きに渡ってこの地にはほかのまちにはない学舎がたっていることになる。

たかまは、古くからものづくりのまち。共に歩んできた「ものづくりの学び舎」の55年間に敬意を表したい。

“撮っておき” の たかま

【第54回】

「ひと」「もの」「文化」などなど、
有形・無形を問わず、
高浜市の日常の暮らしの中にある
とっておきの「お宝」を紹介します。

LEIA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

ポルトガル語のページを読んでください！(P.27)

広報たかま
編集・発行／高浜市役所総合政策グループ

〒444-1398 愛知県高浜市青木町四丁目1番地2
TEL (0566) 52-1111 FAX (0566) 52-1110
<http://www.city.takahama.lg.jp/>
電子メール info@city.takahama.lg.jp

早期配布にご協力ください。



広報たかまは植物油インキを使用しています。